

医療用品メーカーのダイヤ工業（岡山市南区古新田）は仙台市に物流センターを新設し、4月1日に稼働させる。コルセットやサポーターなど約10万点を保管。売上高の約4

割を占める関東以東の接骨院などへの納期を最大1日短縮し、スムーズな治療につなげる。同社が岡山県外に物流拠点を設けるのは初めて。

（水野雅文）

仙台に新物流センター



ダイヤ工業 来月稼働

物流センターは、仙台市にある4階建て倉庫のうち、3階の一部（875平方メートル）から仕入れる湿布や鎮痛作用のある塗り薬などを貯蔵。自社製の医療用コルセット、膝や足首といった関節部に付けるサポーター、他社プロダクト（875平方メートル）から仕入れる湿布や鎮痛作用のある塗り薬などを貯蔵。自社製の医療用コルセット、膝や足首といった関節部に付けるサポーター、他社

コルセットなど 納期最大1日短縮 関東以東へ配達



同社のコルセットや

腰に取り付けるコルセット
0人（パート含む）。

ご計約5千種類の医療用品を保管し、北海道、東北、関東の接骨院などへ配達する。
運営は両備グループの物流会社・両備トランスポーティング（岡山市中区新築港）に委託し、スタッフ8人を置く。仙台市は東日本地域のほぼ中央に位置し、北海道への航路があるほか、高速道路など陸送面でも便利なことから立地先に選んだ。

ダイヤ工業による配送は、現在は本社敷地内にある倉庫（鉄骨平屋延べ約1700平方メートル）から全国の接骨院など約3万カ所に製品を送っている。北海道や東北といった遠隔地は受注から2日かかるが、これまで新物流センターが稼働すると1日早くめられるという。関東地方では最大7時間の短縮が可能とみている。

松尾正男社長は新物流センターについて

「自然災害のリスクを分散する狙いもある。

製品サンプルを速やかに届けるなど営業を強化し、年間1億円の売り上げアップを目指す」と話している。

同社は1963年設立、資本金1千万円、売上高34億5400万円（2015年3月期）。従業員は約10

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。